

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2007-505421(P2007-505421A)

【公表日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-533344(P2006-533344)

【国際特許分類】

G 0 6 T 11/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/28 (2006.01)

G 0 9 G 5/39 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 11/00 1 0 0 A

G 0 9 G 5/28 6 1 0 E

G 0 9 G 5/28 6 1 0 B

G 0 9 G 5/36 5 3 0 D

G 0 9 G 5/36 5 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月24日(2007.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対称分布(302)に基づいてテクスチャマップ(402)を生成するステップと、
アンチエイリアシングされたラインおよび文字を形成するために前記テクスチャマップ
(402)を多角形領域(502、602)に適用するステップと、
を含むアンチエイリアシングされたラインおよび文字を生成する方法。

【請求項2】

分布(302)に基づいてテクスチャマップ(402)を生成する前記ステップは、さ
らに、ガウス分布(302)に基づいてテクスチャマップ(402)を生成するステップ
を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

分布(302)に基づいてテクスチャマップ(402)を生成する前記ステップは、さ
らに、テクスチャマップ(402)におけるピクセル毎に、
テクセルと文字(801)を形成するそれぞれのラインセグメント(802)との間の
最小距離を決定するステップと、
前記最小距離を使用して、対称分布(302)に基づき輝度値を決定するステップと、
前記テクセルと前記輝度値(I₁)とを関連付けて、テクスチャマップ(402)を形
成するステップとを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

表示されるライン毎または文字毎に、対称分布(302)を使用して生成される少なく
とも1つのテクスチャマップ(402)を格納するためのテクスチャメモリ(111)と
、
前記テクスチャメモリ(111)に結合され、前記テクスチャマップ(402)を多角

形領域（502、602）に適用して、アンチエイリアスされたラインおよび文字を形成するように動作可能なグラフィックプロセッサユニット（109）と、
を備えるアンチエイリアシングされたラインおよび文字を形成するディスプレイシステム
(100)。